

平成27年度全国学力・学習状況調査の結果(ダイジェスト)

学力の状況

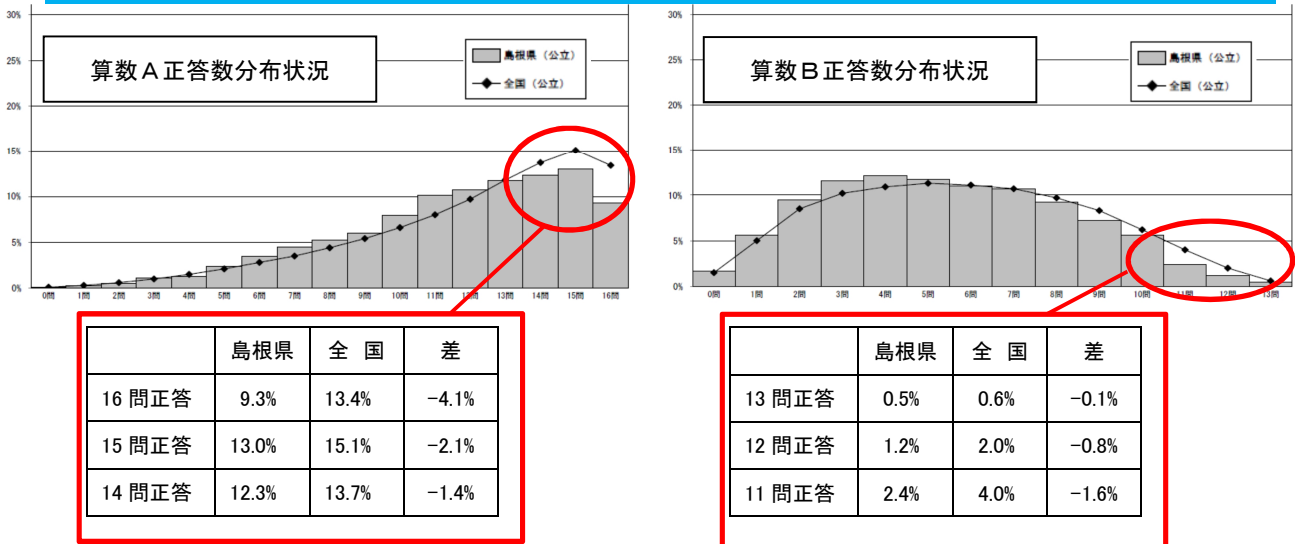
●各教科の平均正答率

	小学校			中学校		
	島根県	全国	全国との差	島根県	全国	全国との差
国語A	69.3	70.0	-0.7	75.7	75.8	-0.1
国語B	63.8	65.4	-1.6	65.6	65.8	-0.2
算数A	72.4	75.2	-2.8	62.7	64.4	-1.7
算数B	42.2	45.0	-2.8	39.6	41.6	-2.0
理科	59.8	60.8	-1.0	53.1	53.0	+0.1

●小学校算数の結果について

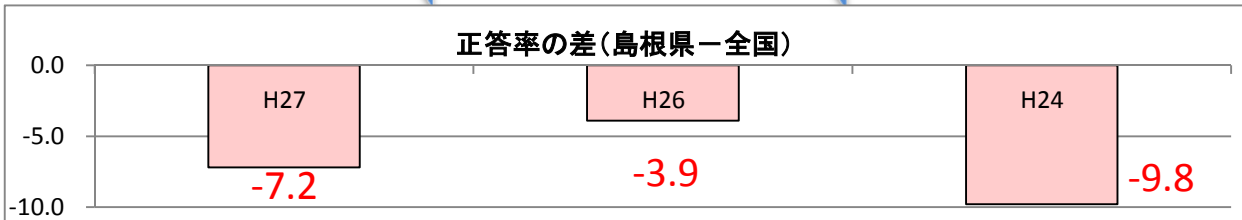
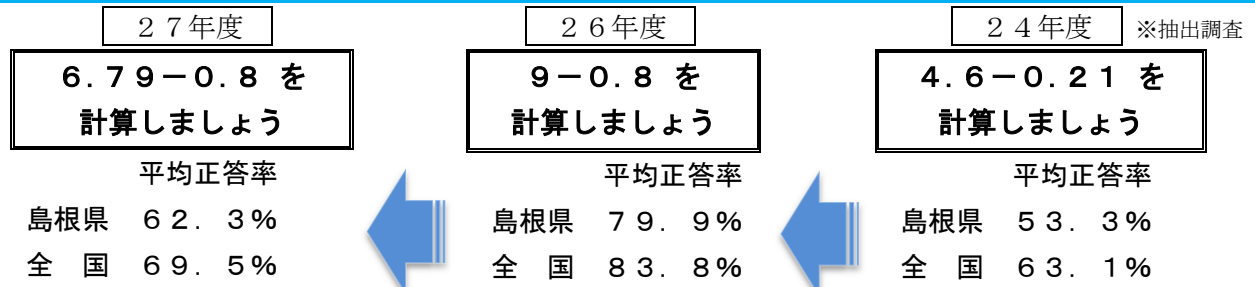
○正答数分布状況から

正答数が多い層が全国と比べて極めて少ない



○算数Aの解答状況から

過去において課題が見られた調査問題の改善が図られていない



質問紙の回答状況から

【児童生徒質問紙より】 ※数字は、肯定的回答（「そう思う」「どちらかといえばそう思う」）を合計した割合を表す

- 授業のはじめに目標（めあて・ねらい）が示された
【小学校】県 85.4% 前年 71.0% (+14.4%) 【中学校】県 75.3% 前年 55.7% (+19.6%)
- 授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていた
【小学校】県 74.4% 前年 63.3% (+11.1%) 【中学校】県 51.2% 前年 42.7% (+8.5%)
- △ 算数・数学の勉強は好きだ
【小学校】県 57.7% 全国 66.6% (-8.9%) 【中学校】県 52.5% 全国 56.0% (-3.5%)
- △ 算数・数学の授業の内容はよく分かる
【小学校】県 76.6% 全国 81.0% (-3.9%) 【中学校】県 71.5% 全国 71.6% (-0.1%)
- △ 算数・数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える
【小学校】県 75.7% 全国 79.6% (-3.9%) 【中学校】県 65.6% 全国 69.8% (-4.2%)
- △ 算数・数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える
【小学校】県 71.8% 全国 79.1% (-7.3%) 【中学校】県 57.3% 全国 67.5% (-10.2%)

【学校質問紙より】 ※数字は、肯定的回答（「よく行った」「どちらかといえばよく行った」）を合計した割合を表す

調査対象の学年の生徒に対する算数・数学の授業において、前年度までに次のような指導をどの程度行ったか

- △ 補充的な学習の指導
【小学校】県 86.6% 全国 91.8% (-5.2%) 【中学校】県 83.0% 全国 89.1% (-6.1%)
- △ 発展的な学習の指導
【小学校】県 53.6% 全国 61.6% (-8.0%) 【中学校】県 50.0% 全国 65.4% (-15.4%)

今後の対応

県教育委員会と市町村教育委員会が連携・協力し、学力・学習状況調査結果分析に基づいた指導の改善を推進する。

1. 管理職対象の臨時説明会を実施し、各学校が組織的な授業改善を進めるよう働きかける。

各学校で組織的な授業改善を図ることができるよう、学力と学習状況の課題、今後の取組についての共通理解を促すため、学校マネジメントの中核となる管理職対象の説明会を実施。

2. 算数の学習指導を改善・充実させるためのプロジェクトチームを立ちあげる。

大学教員や優れた指導力をもつ教員などからなるプロジェクトチームを立ちあげ、学力・学習状況調査結果分析に基づいた算数の学習指導の改善方策について検討する。

3. 算数の指導についての学校訪問をすべての小学校で実施する。

県教育委員会と市町村教育委員会が連携・協力してすべての小学校を訪問し、算数の授業改善に向けて指導・助言を行う。

4. 改善の取組を12月の県学力調査で検証し、学力育成のPDCAサイクルを着実に実施する。

課題に基づいた指導改善の取組を12月の県学力調査で検証。結果を分析して、すべての児童生徒の学力を育成できるよう、さらに指導の改善を推進する。